

平成19年5月20日

社団法人 竜ヶ崎青年会議所
理事長 櫻井 拓也

竜K O I舞祭 2007 開催趣意書

「心のふるさととは一つ」

～踊りを通して子供たちの心にふるさとの灯をともしよう～

私たちは「明るい豊かなまちづくり」を目指して、地域のために活動していくことを基本理念としている団体です。事業の一つといたしまして、今年度で6年目を迎える「竜K O I舞祭」を行っております。「竜K O I舞祭」は、いままで龍ヶ崎にはなかった子供達が主役になれる祭であり、そこに集う人全てが一緒に楽しみ一緒に作り上げていく「ふるさとの祭」づくりを目指しています。

この事業は、祭を開催する事だけが目的ではなく、人集めや観客を喜ばせる為の「イベント」でもありません。大人も子供もお年寄りまで、例え体が不自由な人でも一緒に参加して一体感を味わう事ができる。古代から人が親しんできた「踊り」という素晴らしい手法を使う事で、さまざまな子供達に「竜K O I」の活動に触れてもらい、竜K O Iの年間を通じた活動の中からあらゆる機会と経験を得ることで、「友情・協調性・思いやりの心・感謝の心・身心の鍛錬・自己啓発・礼儀・道徳心・ふるさとを想う心」などを養い、チームや学校そして地域でリーダーシップを発揮し、自分のふるさとに誇りを持ち、率先して考動出来る「人づくり」をする、「ふるさとを担う地域リーダーの育成」を目的とする事業でもあるのです。

竜K O I舞祭には祭の「御神体」ともいえる楽曲があります。地域の歴史に触れることが出来る楽曲で子供達にふるさとに誇りをもち踊ってもらえるよう、龍ヶ崎の名所を唄った歴史のある原曲、「龍ヶ崎錦」(市制時に作成)と、「龍ヶ崎小唄」(昭和7年作成・野口雨情作詞)を、子供や若者に受け入れやすくアレンジした、「竜K O I RYU-DANCE」「おお! RYU-DANCE」「DORAGON SWING」3つのオリジナル曲とダンスを製作してきました。

すでにいくつかの小中学校では私達の活動にご賛同いただき、体育祭に「竜K O I RYU-DANCE」をとり入れて頂いていますし、龍ヶ崎を中心とした近隣地域のチームには、保護者を中心とした地域の大人たちが関わり、地域・学校が一体となって子供達を支える活動も始まっています。

この6年間の活動の中での参加チームの成長振りは素晴らしく、県内外で開催されている舞祭や各地域の商工祭や収穫祭にも自主的に参加し演舞を披露しています。そうした各地祭での交流を通して子供たちの間に友情や礼儀を重んじる気持ち、ふるさとを想う気持ちなどが芽生えはじめ、チーム内では新しく入ってくる後輩へのダンス指導・チームの運営にも子供達がリーダーシップを発揮しています。竜K O I舞祭は、こうした子供達とそれを支える方々の活動の集大成を披露する最良のステージなのです。

今年7月に開催する「竜K O I舞祭2007」は「共創」「共感」をテーマとし、竜K O Iと一緒に育った子供達、これから一緒に参加してくれる子供達や地域の方々、そして竜K O Iの目的にご賛同くださる諸団体の皆様にご協力いただき、参加者も主催者も観客もみんなが同じ時間を共有し一体感を味わい楽しめる、地域の方々と共に創りあげていく「ふるさとの祭」の実現を目指します。

心のふるさととは一つです！地域の未来を担う子供達の心、その子たちを育てる地域の大人の心にも「ふるさとの灯」をともし続ける事が、5年後10年後20年後の地域の発展につながると信じ、皆様と共に心のふるさとを築いていきたいと思えます。